

●タウンコレクティブ南小岩 (TCみなこい)

居室1：和室6畳+1.5畳収納 家賃6.7万円 (即入居可)
居室2：洋室5.5畳 (クローゼット付) 家賃4.9万円 (即入居可)

所在地：江戸川区南小岩
共用部分：リビング、ダイニングキッチン、バス、トイレ、庭
最寄駅：JR総武線 小岩駅より徒歩18分、都営バス停より徒歩3分 (錦糸町行きなど)
共益費など：居住者組合で決めて運営、居住者で分担



ハウス見学受付中!
親水緑道が通る緑豊かな小岩は、買い物にも便利で暮らしやすいです。屋根裏に収納もあり家財が多い人も安心。自転車も便利で坂もありません。共用部分もたっぷりです。



お知らせ

居住者のブログ・FB・インスタグラム

実際の暮らしの様子はコチラから
スガモフラット
<https://blog.goo.ne.jp/sugamos2014/>
<https://www.instagram.com/sugamons212/>
コレクティブハウス聖蹟
<https://www.facebook.com/ch.seiseki/>
コレクティブハウス大泉学園
http://blog.livedoor.jp/ch4_oizumi/
タウンコレクティブ南小岩
<https://www.facebook.com/tc.koiwa/>
https://www.instagram.com/minami_koiwa



その他の空室情報はこちら



目白オフィス 毎週木曜午後は OPEN DAY

会員のみなさんにお気軽にお越しいただけるよう、毎週木曜午後はオフィスオープンデーとしています。事務局メンバーがおりますので、お話をしながら、関連書籍や資料などもご覧いただけます。目白にお越しの際にはぜひお立ち寄りください。



※事前に事務局までご一報ください。
TEL: 03-5906-5340 / E-mail: info@chc.or.jp

Facebookページも公開中!

発行 / NPOコレクティブハウジング社 (CHC) ホームページ <https://www.chc.or.jp/>
〒171-0031 東京都豊島区目白3-4-5 アビタメジロ302
TEL: 03-5906-5340 FAX: 03-5906-5341 E-mail: info@chc.or.jp

これこれ新聞 vol.34
定価200円 (税込)
定期購読2,000円 (年間/送料別)

第14回 ALHA推進フォーラム2019に CHC が登壇!

昨年11月9日(土)、タワーホール船堀にて開催された「第14回もうひとつの住まい方 (ALHA) 推進フォーラム2019 住まい方から考える～多世代・多文化共生を1歩前に～」という江戸川区後援のイベントに、CHCの狩野さんが登壇。私はTC南小岩の居住者として参加してきました。



事業体介在型シェアハウスを普及させたメディア「ひつじ不動産」のお話では「音と匂いがほどよく遮られるハード設計が成功している」、「共生ではなくても共存は実現しやすい」といったテクニカルな面も語られました。

ほかにも面白かったのは、江戸川区議会議員のプランク・ヨゲンドラさんのお話。東日本大震災後に、祖国に帰ったインド人も多くいたというエピソード。その家や地域が魅力的なら人は定住する、と考えがちですが、放棄しづらい職務、もしくは容易に代替されない役割を得た個人が、ハウスや地域コミュニティや組織の魅力になっているのはいかというふうな、想像を巡らせました。(居住会員U.K)

《当日のプログラム》

- I部 多文化共生・多世代交流の住まい方
 1. 東京大都市圏の外国人集住団地における多文化共生の地域づくり
 2. 西葛西インド・ニッポンコミュニティ
 3. 多世代・多文化交流型コーポラティブハウスとシェアハウス
 4. ひつじ不動産(多文化共生・多世代共生型シェアハウス)
- II部 もうひとつの住まい方 in えどがわ
 - ・江戸川区の取り組み 都市・住宅マスタープラン
 - 1. なごみの家を拠点とした地域共生社会の実現に向けた取り組み
 - 2. タウンコレクティブ南小岩一よそのが地域でつながる暮らし
 - 3. 松江の家一地域の防災拠点になるオフグリッド住宅
 - 4. ほっと館 (市民事業による高齢者グループリビング)

「投稿コーナー」投稿募集

「これこれ新聞」では、話題にしてほしい記事を読者の皆様より募集しています。投稿はこちら↓
ペンネームを添えて、collecollego@gmail.com まで。

「これこれ新聞」編集サポーター募集!

これこれ新聞編集部では写真を撮ったり、記事を書いたり、アイデアを出して下さる、サポーターを募集しています。
collecollego@gmail.com までご連絡ください。

【編集後記】2020年を迎え、東京はオリンピックを開催するにあたり、街の様子が大きく変わりつつあります。また生活の中でもキャッシュレス化など、今までと異なる変化しています。この変化に今一つ追いついていないのが、日本人の考えや意識なのかもしれないですね。(編集部員O)



隔月刊 CHC

これこれ新聞

【リレー連載】コレクティブハウスとは：「それぞれの住まい方を尊重しながら一緒に創る共創の住まい。部屋をシェアするのではなく、暮らしをシェアする。それは何気ない日常のひとつの中での」(K.K)

コレクティブハウス本町田 2020年3月入居開始! 12月22日、居住準備組合が発足しました



「居住準備組合」とは、コレクティブハウスの暮らしを居住者が共同運営する

基盤となる「居住者組合」の準備段階に当たる組織で、入居後の暮らしに必要な居住者組合運営の仕組みや、組合で購入する家具や備品、金銭面についてなどを検討するための組織です。共同運営の暮らしについて具体的に考え始めていく、実質的な第一歩です。

※ ※

本プロジェクトでは、昨年7月から居住を検討される方向けのワークショップを開催してきました。ワークショップでは、人と人とのつながりや暮らしの共同運営、共有の空間がある住まいやそこの暮らしについて、考え、話し合ってきましたが、同時にそれは一人一人が、自分自身の今後の暮らし方を改めて考える機会でもありました。

10月からはワークショップと並行して、居住希望者のミーティングも行っています。こちらは入居後の共同運営に向けた住まい手自身の活動で、ワークショップとも連携しながら、自分たちで自分たちのことを決めていくための動きです。年末までの2ヶ月で、今後検討し決めるべきことをリストアップし、整理してきました。



今回設立した「居住準備組合」で、共同で購入する備品や集めるお金のことなど、居住者それぞれおよび全体の暮らしの質に関することを一つ一つ具体的に考えていきます。

ワークショップも1月から第3期が始まっています

これまでの議論の積み重ねももちろんありますが、暮らしづくりはこれからが本番です。新たな居住希望者との出会いにも一同期待しています。

(担当コーディネーター 矢田浩明)

Facebookページも公開中!



1～2月は合計4回 現地見学&説明会を開催しています

まだ工事中ではありますが、実際の建物を見学していただける説明会を開催しています。どなたでもお気軽にご参加いただけますので、ぜひお申込み、お問合せください。

【開催日時】

- 1月26日(日) 10:30～12:00
- 2月9日(日) ①10:30～12:00、②14:00～15:30
- 2月23日(日) 10:30～12:00

お申し込みの際、いずれかご希望の日時をお知らせください。

【申込方法】

- 下記の方法のいずれかにてお申し込みください。
- (1) メールにて kyoju-ch@chc.or.jp まで
- (2) Peatixにて「コレクティブハウス本町田 現地見学会」で検索
- (3) 電話にて 03-5906-5340 まで

●物件概要

ワンルーム約25㎡ 4.9～5.9万円 全22戸
1LDK・2DK 約50㎡ 9.2万円 全7戸

所在地：東京都町田市本町田
最寄駅：小田急線「町田」駅から徒歩25分
またはバス6分 徒歩3分
居住人数：35名程度

コモンスペース： コモンキッチン、ダイニング、リビング、ラウンジ、大きな浴室、ランドリーなど
付帯施設： 駐車場、駐輪場、トランクルーム、宅配ボックス、ゲストルーム、多目的室、アトリウム、パティオなど

共益費など： 今後居住者組合で決定、大人1人1万円以下を想定。
入居時預金：

- <敷金> 賃料の2ヶ月分 ※退居時全額返還 (原状回復費用発生の場合差引)
- <組合出資金> 居住者組合で検討
- 契約形態： 賃貸借契約



研究者としてコレクティブハウジングに関わるといふこと

はじめまして。このたび、「これこれ新聞」の記事を担当させていただくことになりました稲見直子と申します。私はかれこれ約4年にわたって「コレクティブハウス聖蹟（以下、聖蹟）」で調査・研究をさせていただいています。研究成果については論文としてまとめているので、ここでは研究者としてコレクティブハウジング（以下、コレクティブ）に関わることについて、僭越ながら、私のこれまでの経験を踏まえて書かせていただきます。

自己紹介

まずは簡単に私の自己紹介をさせていただきます。私の専門分野は社会学で、特に家族社会学や福祉社会学の観点からコレクティブの研究を行ってきました。そもそも私は従来主流だった核家族的な家族のあり方ではなく、血縁や婚姻を超えた疑似家族的な家族形態に関心を持っていました。このことを指導教員に相談した際、コレクティブのことをご教示いただいたことが私のコレクティブ研究の始まりです。

博士課程では、1995年の阪神・淡路大震災の復興過程で事業化された「震災復興公営コレクティブ」を主な題材に、高齢者居住政策としてのコレクティブの可能性について研究を行いました。詳細は紙幅の都合上割愛しますが、この成果は2013年に博士論文としてまとめました。

聖蹟の調査はこの後の2015年1月からです。ちょうど2014年4月に長女を出産した私は、家族だけの育児に不安と限界を感じていました。そうした中、調査ではコレクティブにおける育児の様子に加え、他者と関わりながら育児をすることが「親」としてどのような意味を持つのかに関心を持っていました。

<観察者>であると同時に <被観察者>としてのフィールドワーカー

では、いよいよ本題です。聖蹟での研究を進めるにあたっては、私は「フィールドワーク」という手法を用いています。フィールドワークとは、調査対象とするフィールドに調査者自らが長期間身を置き、そこで見たこと聞いたこと感じたことをデータとして収集していく技法です。その際、大事なことは、調査対象者の方々に私自身が受け入れてもらえるかどうかです。そのためにはなんとと言っても、居住者の方々と信頼関係が重要になってきます。信頼関係を築くうえで「調査者—被調査者」という関係ではなく、私自身が信頼に値する人間であるかが見られます。つまり、私自身も居住者の方々に観察される「被観察者」だということです。

このことを強く感じるのは、実は子どもたちと接している時です。ある日のコモンミールでYさん家族（夫婦と長男S君）とたわいもない会話をしていた時のことです。突然、4歳のS君が「稲見さん、いつも同じ服着てるね。」と話しかけてきました（笑）。



(左) 2016年まだ所在なげな感じの稲見さん (右) 2019年一緒にミールづくり、すっかり馴染んだ稲見さん

確かに、私は同じ服を着ることがよくありますが、4歳の子もがいつも私の服装を「観察」していたことにとっても衝撃を受けました。そしてこの時、私自身も観察されている立場だということを実感したのです。他にも、調査開始当初は子どもたちから警戒されていた私ですが、最近では話しかけてもらえるようになりました。

このように、子どもたちも日頃から私のことを「観察」し、信頼が置ける人間かどうかを子どもたちなりに吟味していると言えます。つまり、私に向けられる子どもたちの表情や態度や発言は、私にとってある意味フィールドで受け入れられているかどうかの重要なバロメーターなのです。

信頼と距離感のバランス

一方、居住者の方々と信頼関係を築く上で難しさもあります。確かに、居住者の方々と良好な関係を築けば、それだけコレクティブについて理解が深まるのは間違いありません。ですが、居住者の方々と過度に同一化してしまうと、コレクティブ内で重視されている価値観や行動様式が、次第に私の中でも「当たり前」のものとなっていき、コレクティブ外の価値規範との違いが見分けにくくなってしまいます。つまり、客観的に対象をみづらくなってしまふということなのです。したがって、居住者の方々と適度に距離をとりながら信頼関係を築いていくこと、このバランスを維持することがフィールドワーカーとして私が心がけている重要なテーマです。

以上、とりとめのない文章となりましたが、今回は私が研究者としてコレクティブに関わる中で普段感じていることや心かかっていることを書かせていただきました。

私にとってコレクティブは、現代の家族や社会を考える上で非常に示唆に富む営みです。その魅力は、血縁・家族を超えたケアの実践や、「話し合い」を基盤とした人間関係の構築・維持など多岐に渡ります。コレクティブの研究を始める時、指導教員が「コレクティブだと10年は研究できるわよ!」と仰ったのを今でも鮮明に覚えておりますが、これらの魅力から、私のコレクティブ研究は10年どころかおそろくライフワークとなるでしょう。今後とも何卒宜しく願い申し上げます。

(稲見直子)

<つくる会> 活動報告

笑恵館との共催イベント

「コレクティブ的」なもの

昨年の11月25日、世田谷区にある地域交流施設「笑恵館」にて、「東京にコレクティブハウスをつくる会」主催イベント『コレクティブ的な生き方、在り方、暮らし方って何？ どんなこと?』を開催しました。

当日はコレクティブハウスの簡単な解説と『コレクティブハウスフェドクネッペッ』のビデオ鑑賞、笑恵館ができるまでのお話、最後に質疑感想などの懇談という盛りだくさんの内容でした。

参加者は30代～70代と幅広い年齢で、平日19時からの開催にも関わらず多数の方が参加し、非常に活発で有益な意見交換ができました。フェドクネッペッと笑恵館、どちらにも共通していたのは、それぞれそこの新たなコミュニティをつくり、お互い関わりながら家族という既成概念に拘らず、この場所で人生を全うする暮らしでした。

イベントを通して、『コレクティブ的な生き方、在り方、暮らし方って何?どんなこと?』について、今回の2つの事例とさらには日本のコレクティブハウスの話も聞くことで、ご自身の考えが持てたものと思います。(編集部員O)

※

毎月1回程度のペースで不定期開催している「東京にコレクティブハウスをつくる会」有志イベントのお知らせは、NPOコレクティブハウジング社のfacebookページ等でお知らせしていきますので、チェックしてみてください。



CHCの活動 (2019年12月～2020年1月)

- 11/3,11/10,11/24,12/8,12/22,1/25 (日) コレクティブハウス本町田 豊かな暮らしづくりワークショップ+居住希望者ミーティング開催
- 11/8,11/18,12/13,12/24,1/8,1/20 京都版コレクティブハウス オンラインミーティング
- 11/9 (土) 第14回もうひとつの住まい方推進フォーラム2019 「住まい方から考える—多文化・多世代共生を1歩まえに—」にて事例報告
- 11/13,12/4,1/14 CHC経営会議
- 11/24 (日) コレクティブハウス本町田 第1回お試しコモンミール開催@成瀬コミュニティセンター
- 11/25 (月) イベント「コレクティブ的な生き方、在り方、暮らし方って何? どんなこと?」笑恵館にて開催
- 11/23 (土)～ コレクティブハウス大泉学園 全居住者ヒアリング開始 (居住支援調査)
- 12/1 (日) 創造的参加の場コーディネーター養成講座2019 (CD養成講座) 第1回

居住者☆通信 スガモフラットだより

スガモンズとなり早6年目。子どもが高1(娘)、小5(息子)と大きくなり、それぞれのプライベート空間の捻出に頭をひねる日々です。入居当時の出来事はすっかり忘れていたのに、その時期の気持ちはわりと鮮明に覚えています。なぜだろう?と今考えてみましたが、「単なる引っ越しではなく、あるひとつのコミュニティに属したのだ」という感覚を強く覚えたからかもしれません。そんなわけで、新しい入居者が入るたび、「いま、こんな気持ちかな〜」「コモンに入るときドキドキだよな〜」なんて勝手に考えています。

スガモフラットでは一昨年から「暮らしのルールグループ」が加わりました。「暮らしのルール」に記載された内容と実際の暮らしのズレ、ここを一度丁寧にすりあわせてみようというグループです。新しい居住者が入る際、暮らしのルールの読み合わせをするのですが、読み合わせながら「あ、ここはいまちょっと違うんですけどね…」そんな箇所がポツポツあるのです。

昨年前半に取り組んだのは「西スガモンズのしくみづくり」。退去後も「元居住者」「ゲスト」以上のつながりに関わりたい、そう考えてくれる元居住者があらわれて、そのしくみづくりに取り組みました。

ここまで取り組んできて思うのは、話し合いの場にお菓子は欠かせないということ(笑)。年度初めに話し合いのお菓子代を予算計上しましたが、夏に「これは足りない!」と追加予算を要求してしまったほどです。毎回、話し合いの活性化(ときにクールダウン)に役立つお菓子を選んでくれるのは、グループメンバーのhさん。デパ地下スイーツを選んでくれる気遣い、気合いの嬉しさよ。予算追加が決まり「さらにグレードアップか!?!」というここ2回、近所のまいばすけっとでさらっと調達。これはさては次回豪華なものの選ぼうということなのか!? 毎月の話し合うテーマ以上に、毎回の話のお供が気になりだしている私です。(Y.O)

- 12/4 (水) 令和元年度 北沢区民企画講座 「人生100年 ささえあいのコミュニティづくり〜誰とどこでどう暮らす?」 講師派遣 (世田谷区北沢総合支所)
- 12/10 (火) セミナー「多様な人とつながり子どもが育つ〜CHの多世代の魅力」@地球環境パートナーシッププラザ
- 12/11 (水) 2019年度 第3回理事会
- 12/14 (日) CD養成講座 第2回
- 12/15 (日) まちのもり本町田プロジェクト 現地見学&説明会
- 12/16 (月) 「東京と近郊に新たなコレクティブハウスを2021年から毎年つくる会」定例ミーティング
- 12/18 (水) 令和元年度第1回自治体職員向けセミナー「空き家から発生する問題と、その取り組みについて」講師派遣 (東京都都市づくり公社)
- 12/20 (金) 「多様な住まいを知る学習会」講師派遣 (ワーカーズコープ連合会センター事業団)
- 12/22 (日) コレクティブハウス本町田 居住準備組合設立
- 1/12 (日) CD養成講座 第3回
- 1/19(日) イベント「おじさんスナック@CH聖蹟コモンキッチン」(つくる会)
- 1/25 (土) ワークショップ「障がいあるなしにかかわらず共に暮らす形を考える」@地球環境パートナーシッププラザ